

宝塚市教育委員会

教育支援センター「Pal たからづか」

Pal ぶんれんど募集!!!

「Pal ぶんれんど」とは不登校の子どもに寄り添い、支える大学生ボランティアです

CHECK!!

こんな人にオススメ!!

- ☑ 子どもが好き
- ☑ 学校の先生になりたい
- ☑ 教育、心理、福祉などの勉強をしている
- ☑ 対人援助職を目指している



「Pal ぶんれんど」とは?

「Pal ぶんれんど」は、不登校の子どもたちとおしゃべり、運動、音楽、学習など一緒に活動をする大学生ボランティアのことです。

どんな人が「Pal ぶんれんど」になっているの?

心理、教育、福祉など、様々な分野を専攻している学生が「Pal ぶんれんど」として活動しています。

どんな場所で活動している?

教育支援センター「Pal たからづか」は不登校の子どもたちの居場所として、人との関りや様々な体験を通して子どもたちの成長を育む場所です。

どんな人を募集しているの?

学部は問いません! 不登校の子どもと関わってみようという意欲のある方で、週1日(月から金)2時間以上、継続的に活動できる方を募集しています。

興味をもった

- 1 教育支援課(0797-87-1718)へ電話もしくは連絡先を書いたものを郵送
- 2 Pal ぶんれんどに興味があることを伝える
- 3 面接(説明)の日程を決める

面接・説明

- 4 面接を受け、活動に関する詳しい説明を聞く
- 5 活動内容を理解した上で「Pal ぶんれんど」の登録を行う

活動開始

- 6 参加できる曜日、時間を決めて定期的な活動を開始

募集要項・現役 Pal ぶんれんどの声は

宝塚市 Pal ぶんれんど



で検索

または QR コードで検索

【住所】〒665-0827 宝塚市小浜 1-2-1 宝塚市立教育総合センター 教育支援課

【電話】0797-87-1718 Pal ぶんれんど担当者まで



- 1 目的
教育支援センターや児童生徒の家庭と一緒に話をしたり遊んだりすることを通して不登校児童生徒の育ちを支援する。
- 2 実施主体 宝塚市教育委員会事務局 教育支援課
- 3 実施期間 令和3年(2021年)4月1日から1年間 希望により継続可能
- 4 活動内容
 - (1) 教育支援センターでの支援
 - ①活動内容
 - ・教育支援センターでの支援
 - ・事前研修会、情報交換会、事例研究会への参加、教育相談員等との連携 ※任意参加
 - ②活動時間 週1回以上 時間は要相談(下記の時間帯の中で都合のよい曜日、時間を固定して)
 - ・小学部:月曜日、木曜日10時～13時 火曜日、金曜日10時～15時
 - ・中学部:月曜日、火曜日、水曜日、金曜日10時～16時 木曜日10時～14時
 - ③謝金
 - ・教育支援センターでの支援:1時間500円
 - ・研修等:1時間1000円
 - ④活動場所
 - ・教育支援センター(小学部)〒665-0827宝塚市小浜1丁目2番1号 宝塚市立教育総合センター
 - ・教育支援センター(中学部)〒665-0827宝塚市小浜1丁目1番10号 宝塚市立教育総合センター分室
 - (2) 家庭訪問による支援
 - ①活動内容
 - ・家庭訪問を行い、対象児童生徒と関わる
 - ・事前研修会、情報交換会、Pal事例研究会への参加、教育相談員等との連携 ※任意参加
 - ②活動時間
 - ・平日9時～19時頃の間で1時間程度(但し、祝日、土日、センター休館日を除く)。
 - ③謝金
 - ・家庭訪問:1回2000円
 - ・研修等:1時間1000円

※家庭訪問については、ある程度経験を積んだPalふれんどに、本人が希望した場合に教育支援課が依頼する。
- 5 募集対象
 - (1) 18歳から25歳くらいまでの大学生・大学院生
 - (2) 不登校の子どもにかかわってみようという意欲があり、継続的に活動可能な方
 - (3) 子ども等に関する秘密を守れる方
- 6 受付期間 令和3年(2021年)4月1日(木)～令和4年(2022年)3月31日(木)
下記の番号へお問い合わせ
もしくは名前、電話、住所、Palふれんど希望と明記したものを郵送
※応募多数の場合、締め切らせていただくこともあります。
- 7 面接、説明 予定を合わせ随時実施いたします。
- 8 その他 活動中の事故などについては、宝塚市が加入する保険で補償されます。
- 9 問い合わせ 宝塚市立教育総合センター 教育支援課 Palふれんど担当者
【住所】〒665-0827宝塚市小浜1丁目2番1号
【電話】0797-87-1718

Pal (パル) ってどんな場所?? ～「Pal ぶんれ」が伝える魅力!!～

一言で言い表すのは難しい(笑)ただ、当たり前僕のことを呼んで、笑いかけてくれることがけっこう嬉しかったりして、そんな風に友達とも兄弟とも言い表し難い、「Pal ぶんれんど」という関係が僕にとってとても大切なものになっています。そして、仲良くなった子どもたちと別れる時が来ると、自然と切なく、悲しくなってしまう。そんな風に出会いと別れを繰り返して、他では得難いつながりを作っていくのが、Pal という場所なのかなと、今、率直に思います。



闘争4年
Pal ぶんれ 闘争4年

子どもに戻ることができる!

毎年夏に泥だらけになったり、水を浴びたり。着替えがないのに水に濡れたり(笑)、とても楽しいよ。

居場所になる!!

Pal は子どもの居場所を作る場所だけど、活動を続けるうちに自然と自分の居場所にもなってきます。

仲間に出会える!!!

「Pal ぶんれんど」には先生を目指す人、福祉や心理を学んでいる人、院生や一度社会人になったことがある人など様々な立場の人がいるよ。共通することは、子どもに興味があること!いろいろな人の体験や意見が聞けておもしろいです。

絶対にためになる!!!!

どんな学部の人でも子どもとの関り方だけでなく、相手が求めていることをくみ取る力がつく。

どんな分野でも就活に活かせると思います。



闘争4年
Pal ぶんれ 闘争3年

スポーツ、音楽、料理、ゲーム、ダンス、イラストなどなど自分の特技を子どもとの関りの中で活かせるよ。



闘争3年
Pal ぶんれ 闘争3年

中学生と一緒に活動して、自分の中学の頃とは違っていたり変わらなかったりして面白いと思います。あまり関りのない子どもから突然声をかけられたり、こちらを気に入ってくれている様子から嬉しかったり、一方でどうしたらあの子と関われるか悩んだり等、活動を通して様々な気持ちにさせられるなと思います。私は大学院で様々な実習へ行きますが、週一で一年間続けるというものはないため、実習で感じられない子どもの変化が見られ、とても楽しいです。



甲南女子院生
Pal ぶんれ 闘争4年

一番は子どもとずっと関わることで成長していく過程が見られるところです。どんどん成長していくので接し方とか変わってくるけど、それで自分も成長していき、それがやりがいになっています。どうしようか分からなくて落ち込むこともあるけど、経験豊富な Pal ぶんれさんが違う角度から意見を言ってくれ、それがなるほどと思うことばかりだし、自分の考え方が変わっているところなどで活かすことができています。



甲子闘争1年
Pal ぶんれ 闘争1年

Pal ぶんれんどに応募したい、興味がわいた、質問がある、もっと詳しく知りたいという人は・・・
教育支援課：0797-87-1718 (Pal ぶんれんど担当) まで電話

